たけまさ公一後援会報

2018年4月号

地域から、国政新時代

発行 たけまさ公一後援会
住所　〒330-0074
さいたま市浦和区北浦和3-6-11 松本ビル2F
電話 048-832-3810　FAX 048-832-3846
メール voice@takemasa-k.jp　URL takemasa-k.jp

森友学園公文書「改ざん」！

たけまさ公一

財務省は、3月12日森友学園国有地購入に関する「決裁文書についての調査の結果」を公表しました。それによると、「貸付決議書」「売払決議書」「特例承認の決裁文書」など計14の決裁文書について書き換えが行われていました。大きく分けると、

①森友学園を特別扱いする記述の削除～学園への近畿財務局からの関係資料の交付（平成25年7月2日）の削除、学園から近畿財務局への「要請」を「申し出」に変更、本案件が「特例的な内容」である記述の削除、鴻池参議院議員はじめとする政治家の関与の削除、籠池氏の肩書（日本会議代表、同会議運営委員他）の削除（名刺のコピーも）、安倍首相夫人の記載の削除など

②9億円の土地を1億円へと8億円を値引きする交渉過程の削除～経緯から「新たな廃棄物確認（平成28年3月14日）」の削除、「国有地売り払いによる問題解決（平成28年3月30日）」の削除、地質調査会社による「特別に軟弱であるとは言えないとした上で」の削除など

③経緯の削除（大阪府とのやりとりの削除、「決裁参考」の削除など）のように、300か所近くの書き換えは「改ざん」と言わざるを得ません。

国民の知る権利、国民主権がないがしろに

憲法で「国会は国権の最高機関」とされているのは「国民主権」が憲法で決められ、その主権者である国民の皆さんに代わって国会議員が働くのが国会であるからです。三権分立は、権力の暴走を押さえるための仕組みです。「おかみ」と言われ、実際は一番強い権限があるとされる政府（行政）の決裁文書が「改ざん」は前代未聞です。

私も、昨年、財務省国土交通省へ森友学園問題のヒアリングを連日行った際にも、今から思えば、削除された事実関係が明確であればどれだけ全体像の把握が楽であったかと思います。

行政のチェックを国会が行うのは公文書を通じてです。公文書の信ぴょう性が揺らげば国会審議の形骸化、国会のチェック力の低下、国民主権・国民の知る権利の冒涜、ひいては議会制民主主義をも否定することにならざるを得ません。

佐川前国税庁長官、安倍昭恵夫人の証人喚問を

答弁に立った安倍総理、麻生財務大臣が「改ざん」の事実を知っていたとすれば重大な責任が問われることになります。なぜならば、佐川前国税庁長官の答弁に合わせた「改ざん」はあり得ず、まず「答弁」の調整が先にありきと考えます。予算委員会の想定問答（答弁も含め）は、予算委員会の朝、総理関係大臣は担当省庁と行うことになっているからです。事実関係の解明と再発防止のため証人喚問は免れ得ません。

また、公文書管理の在り方が問われています。佐川前長官の答弁では、「政治家との接触」などの文書は保存期間1年未満との財務省規定により「文書がない」「文書は破棄された」を繰り返したからです。

さらに、今回の背景には、内閣人事局を通じて首相官邸（官房長官、官房副長官）が中央省庁

の人事権を握ったことで「忖度（そんたく）」を生じたとすれば、見直しが必要です。

この間、野党6党（立憲、希望、民進、共産、自由、社民）は一丸となって真相究明再発防止にあたっています。そして、成果を挙げつつあります。

今回の「改ざん」が安部一強体制のおごりとすれば、それを許した、野党の責任も問われなければなりません。特に、昨年秋の急な解党新党を行った「民進党」の責任は重いものがあります。だからこそ、野党連携を求める取り組みを続けます。掲げる旗は国民主権！

裁量労働制（勤務時間ではなく成果を評価）に待った！

働き方改革の一環として働いた時間ではなく成果をもって給与を支払う仕組みについて、厚生労働省が挙げていたデータに不備があることが判明しました。裁量労働制を採用している企業のほうが一般企業よりも勤務時間が短いとしていたデータに根拠がないことが明らかになりました。

そのため労働基準法改正法案から削除することを厚生労働省は決めましたが、あわせて高度プロフェッショナル人材制度（残業代ゼロ法案）も裁量労働制と同じ類型として野党各党は削除を求めています。人手不足が言われる中、働く人にしわ寄せが及ばないようにしなければなりません。

また、地方自治体で積極的に定住外国人を受け入れている中、政府の取り組み（国家戦略特区での受け入れ、ポイント制等）や難民受け入れなど国会の議論が置いてきぼりを食っています。

くわえて、埼玉県、さいたま市が全国に先駆けた職業教育充実のためのガイダンスカウンセラー（小中高から将来の職業を見極めた指導を行う専門家）の積極的な育成と派遣を進めます。

トップセミナー2018

2018年5月9日（水）午後6時～

会場　**浦和ロイヤルパインズホテル 4Fロイヤルプリンセス**

講師　**佐藤 優** 氏（作家・元外務省主任分析官）

会費　**20,000円**　お問い合わせはたけまさ公一後援会まで

たけまさ公一のプロフィール

昭和36年（1961年）生まれ
木崎小・中学校／県立浦和高校
慶應義塾大学法学部政治学科卒
（財）松下政経塾　前衆議院議員
元外務・財務副大臣
元衆議院憲法審査会会長代理
○埼玉県合気道連盟会長
○埼玉県ボウラーズ連盟会長
○さいたま市ラグビーフットボール連盟会長
○浦和レッズ後援会理事

たけまさ公一の主な活動地域
埼玉県第1区

たけまさ公一と一緒に「新しい国のかたち」を考えてみませんか。
政治についての疑問、ご提案など、ぜひお聞かせください。

第181回 たけまさ公一と語る会

4月28日（土）
午後2時～4時

テーマ
国会状況と北朝鮮問題

会　場
たけまさ後援会事務所3階

参加費　**無料**

どなたでもご参加いただけます。
終了後は希望者のみ会費制での懇親会も予定 しております。

たけまさ公一後援会事務所
浦和区北浦和3-6-11 松本ビル2F
電話 048-832-3810
FAX 048-832-3846
メール voice@takemasa-k.jp

公式サイト takemasa-k.jp
ツィッター @takemasakoichi
facebookページ takemasatoday
公式LINE@ たけまさ公一